

2018年5月28日

## 鉄道事業におけるスマートデバイスの導入について

JR九州では、安全性の向上、お客さまサービスの向上、異常時の運転再開迅速化、検査効率の向上等を目的に、鉄道事業の各部門において、スマートデバイス（スマートフォン、タブレット）の導入を進めておりますが、この度、在来線の全乗務員への導入を行うこととなりましたので、お知らせいたします。

### ➤ 全乗務員へスマートデバイスを導入します

<導入時期> 2018年6月1日

<導入端末> 車掌：スマートフォン（iPhone 8 Plus）・運転士：タブレット（iPad mini 4）

<導入対象> 在来線の全ての車掌・運転士

<導入による効果>（導入予定のものを含む）

- 安全性の向上
  - ・ 防災情報の取得、各種資料（規程・マニュアル等）の電子化により、災害等への対応力を強化します。
- お客さまサービスの向上
  - ・ お客さまからの乗換に関するお問い合わせに迅速に対応します。
  - ・ 翻訳アプリの活用により、訪日外国人のお客さまへの対応力の向上を図ります。
  - ・ 筆談アプリの活用により、聴覚に障害のあるお客さまに安心してご利用いただけるようご案内の向上を図ります。
- 異常時の運転再開の迅速化
  - ・ 異常時において写真等のデータを乗務員と指令で共有し運転再開の迅速化を図ります。

### ➤ その他のスマートデバイス活用事例（導入予定のものを含む）

- 安全性の向上  
列車動揺測定・工務関係資料（規程・マニュアル等）の閲覧
- お客さまサービスの向上（駅）  
列車時刻のご案内、訪日外国人のお客さまへの翻訳案内、筆談でのご案内
- 異常時の運転再開の迅速化  
異常時における写真等による現場と指令間の情報共有
- 検査効率の向上  
工務関係設備の検査データの現地入力

※ iPhone、iPad は Apple Inc. の登録商標です。